

第3回防災文化講演会・出前授業を気仙沼中学校で開催しました(2014/1/24)

テーマ：防災教育

場所：気仙沼市立気仙沼中学校

1月24日(金)に気仙沼中学校にて第3回防災文化講演会を出前授業の形式で開催しました。講演会には気仙沼中学校1・2年生180名が参加し、当研究所からは、今村文彦教授(副所長, 災害リスク研究部門), 坂巻隆史准教授(災害リスク研究部門), 笠原好之助教(災害医学研究部門), 池田菜穂助教(情報管理・社会連携部門), 安倍祥助手(寄附研究部門), 鈴木修技術補佐員(気仙沼サテライト駐在)が講師を務め、以下の6つの授業を行いました。

全体授業

今村 文彦 「地震や津波の発生の仕組みについて—東日本大震災などを例として」

グループ別授業

坂巻 隆史 「沿岸域の生態系と人のかかわり」

笠原 好之 「災害ストレスによるこころの変化」

池田 菜穂 「地域社会における暮らしの変化と災害」

安倍 祥 「津波避難—支援を必要とする人たちを助けるために」

鈴木 修 「災害アーカイブ活動—東日本大震災を記録していく」

生徒の皆さんには熱心に聴講していただくとともに、様々な質問もいただきました。授業終了後には、気仙沼中学校の先生方から、今後のESD(総合的な学習の時間)での防災教育の展開に関する検討状況を紹介いただき、当研究所との連携の可能性についても意見交換が行われました。研究所としては気仙沼サテライトとともに、気仙沼中学校における防災教育に関する連携を強化していく予定です。



防災文化講演会



出前授業の様子



出前授業の様子



気仙沼中学校校長・教員との意見交換会